

京都市交響楽団

アジアの俊英リオ・クオクマン再び!
ハノーファー国際コンクールの覇者
コヌノヴァの「スペイン交響曲」

©Tatsuo Sasaki



第642回定期演奏会

The 642nd Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

2020

2/14金

午後7時開演 (午後6時開場)

京都コンサートホール

Friday, February 14, 2020 / 7:00PM
Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

開演前 (午後6時30分ごろから) は
指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて開催します。

入場料 **S**¥5,000 **A**¥4,500 **B**¥3,500 **P**¥2,000 (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&後半券 **S**¥2,000 **A**¥1,500 **B**¥1,000

※学生券は開演1時間前から (学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了 (後半開始) まで発売 (学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約) をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/2020年2月7日までに京響075-711-3110へお申し込みください)

◆10枚以上でのチケットお申し込みには団体割引 (10%OFF) があります。
京響 (075-711-3110) までお問い合わせください。

指揮 リオ・クオクマン

Conductor : Lio Kuokman

ヴァイオリン アレクサンドラ・コヌノヴァ

Violin : Alexandra Conunova

※本公演に出演を予定しておりましたスヴェトリン・ルセフは都合により出演不可能となり、
ヴァイオリン独奏をアレクサンドラ・コヌノヴァに変更いたします。どうぞご了承ください。

ラロ：スペイン交響曲ニ短調op.21

プロコフィエフ：交響曲第5番変ロ長調op.100

Lalo : Symphonie espagnole in D minor op.21

Prokofiev : Symphony No.5 in B-flat major op.100

プレイガイド (電話予約)

- 京都コンサートホール... (075)711-3231
- ロームシアター京都... (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ... (0570)02-9999 Pコード133-265
- ローソンチケット... (0570)000-407 Lコード55776

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>



©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



指揮

リオ・クオクマン

Conductor : Lio Kuokman



©Alexander Ivanov

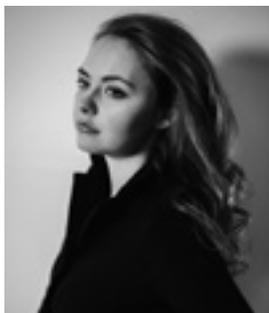
フィラデルフィア・インクワイアラー紙から「驚くべき指揮の才能」と称えられたリオ・クオクマンは、2014年にパリで行われたスヴェトラノフ国際指揮者コンクールで最高位を受賞。2015/16年シーズンまで、フィラデルフィア管でヤニック・ネゼ＝セガンの副指揮を任され、現在は香港ニュー・ミュージック・アンサンブルの首席指揮者を務めている。これまでにフィラデルフィア管、デトロイト響、ロッテルダム・フィル、フランス国立放送フィル、トゥールーズ・キャピトル国立管、デンマーク国立響、N響、都響、ソウル・フィルといった第一線のオーケストラと共演。ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭やラ・フォル・ジュルネ（フランス、日本）にも定期的に登場し、シンフォニア・ヴァルソヴィアなどのオーケストラを指揮している。オペラにも積極的で、《愛の妙薬》、《道化師》、《トゥーランドット》、《イル・トロヴァトーレ》、《リゴレット》、《カルメン》、《蝶々夫人》をはじめ、多数のプロダクションを指揮。ワレリー・ゲルギエフに招かれたマリンスキー劇場では、リムスキー＝コルサコフ《プスコフの娘》を指揮した。ピアニストとしても活躍しており、これまでにカメラータ・ザルツブルク、フォートワース

交響楽団など多くのオーケストラとソリストとして共演している。マカオ生まれ。香港演芸学院を卒業後、ジュリアード音楽院、カーティス音楽院、ニューイングランド音楽院で学び、これまでにオットー＝ヴェルナー・ミュラー、ヒュー・ウルフに師事。サー・サイモン・ラトル、マイケル・ティルソン・トーマス、ジェームズ・レヴァイン、クリストフ・エッセンバツハ、アラン・ギルバートのマスタークラスでも研鑽を積んだ。マカオ室内楽協会の創設メンバーで、同協会の代表に在任中。芸術文化の発展への貢献が評価され、香港とマカオの両政府から賞や勲章を授与されている。

ヴァイオリン

アレクサンドラ・コヌノヴァ

Violin : Alexandra Conunova



1988年モルドヴァ生まれ。2012年のハノーファー・ヨーゼフ・ヨアヒム国際ヴァイオリン・コンクールで第1位に輝いたほか、チャイコフスキー国際コンクールにも第3位受賞（第1位該当者なし）を果たした。マーラー・チェンバー・オーケストラ、ハノーファー北ドイツ放送フィル、マリンスキー劇場管、トゥールーズ・キャピトル国立管、ウィーン室内管などのオーケストラから招かれ、ゲルギエフ、クルレンツィス、プレトニョフ、ノセダらの世界的指揮者たちと共演している。また、シモノフ指揮モスクワ・フィルの日本ツアー、エキルベイ指揮インストラ・オーケストラのヨーロッパ・ツアーにソリストとして参加した。グシュタード、ロンドンのBBCプロムス、アカデミア・サンタ・チェチーリア、ハンブルク・アルゲリッチ、エクサンプロヴァンス・イスター、ラ・フォル・ジュルネ（ナントおよび東京）などの国際音楽祭に出演。室内楽の演奏にも情熱を注ぎ、R.カプソン、モロー、カドウシュ、A.オッテンザマー、コセラと共演している。2018年夏には、ヴェルビエ音楽祭でのコジューヒンとのリサイタル（Medici.tvで配信）が大成功を収めた。コヌノヴァは、出身地のキシナウで慈善財団「ArtaVie」を立ち上げ、若い音楽学生の支援を行っている。ミハイル・リフィッツとの共演によるデビュー・アルバム『プロコフィエフ：ヴァイオリン・ソナタ集』（Aparté）は、国際的に高い評価を得、『グラモフォン』誌上では「確かなテクニックと大胆な解釈の両面において、一流アーティストとしてのコヌノヴァを浮かび上がらせる録音」と評され、「清新に考え抜かれ、生き生きと録音された演奏」が激賞された。このほか、エキルベイ指揮インストラ・オーケストラとともに、名門エラート・レーベルにバートーヴェンの《三重協奏曲》を録音している。使用楽器は1730年製のグアルネリ・デル・ジェス [von Vecsey]。

コヌノヴァは、出身地のキシナウで慈善財団「ArtaVie」を立ち上げ、若い音楽学生の支援を行っている。ミハイル・リフィッツとの共演によるデビュー・アルバム『プロコフィエフ：ヴァイオリン・ソナタ集』（Aparté）は、国際的に高い評価を得、『グラモフォン』誌上では「確かなテクニックと大胆な解釈の両面において、一流アーティストとしてのコヌノヴァを浮かび上がらせる録音」と評され、「清新に考え抜かれ、生き生きと録音された演奏」が激賞された。このほか、エキルベイ指揮インストラ・オーケストラとともに、名門エラート・レーベルにバートーヴェンの《三重協奏曲》を録音している。使用楽器は1730年製のグアルネリ・デル・ジェス [von Vecsey]。

※本公演に出演を予定しておりましたスヴェトリン・ルセフは都合により出演不可能となり、ヴァイオリン独奏をアレクサンドラ・コヌノヴァに変更いたします。どうぞご了承ください。

2018年の「第624回定期」で初登場、聴衆&楽員から大絶賛された逸材リオが再登場！今回は、京響が2015年ヨーロッパ公演でケルンの聴衆を魅了したプロコフィエフの交響曲第5番で流麗なタクトを披露します。1988年モルドヴァ生まれ、2012年ハノーファー国際コンクール第1位、2015年チャイコフスキー国際コンクール第3位（1位なし）に輝いて世界が目にするヴァイオリニスト、アレクサンドラ・コヌノヴァのラロは名演の予感！



©井上写真事務所 井上嘉和

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2019 12/27金から発売!

❖ 次回予告 ❖

第643回定期演奏会

広上淳一のシューベルト&マーラー 純真無垢な天上に響くシンフォニー

日時：2020年 3月28日① 午後2時30分開演

2020年 3月29日② 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール

指揮： 広上 淳一（常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー）
 独唱： 森谷 真理（ソプラノ）
 曲目： シューベルト：交響曲第5番変ロ長調D.485
 マーラー：交響曲第4番ト長調



©伊藤栄子



©武藤章

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)